

ラオスの経済と投資環境

2015年3月11日

JICA新興国投資セミナー

鈴木基義

ラオス計画投資省 JICA専門家・上級顧問

ラオス首相府 永久顧問

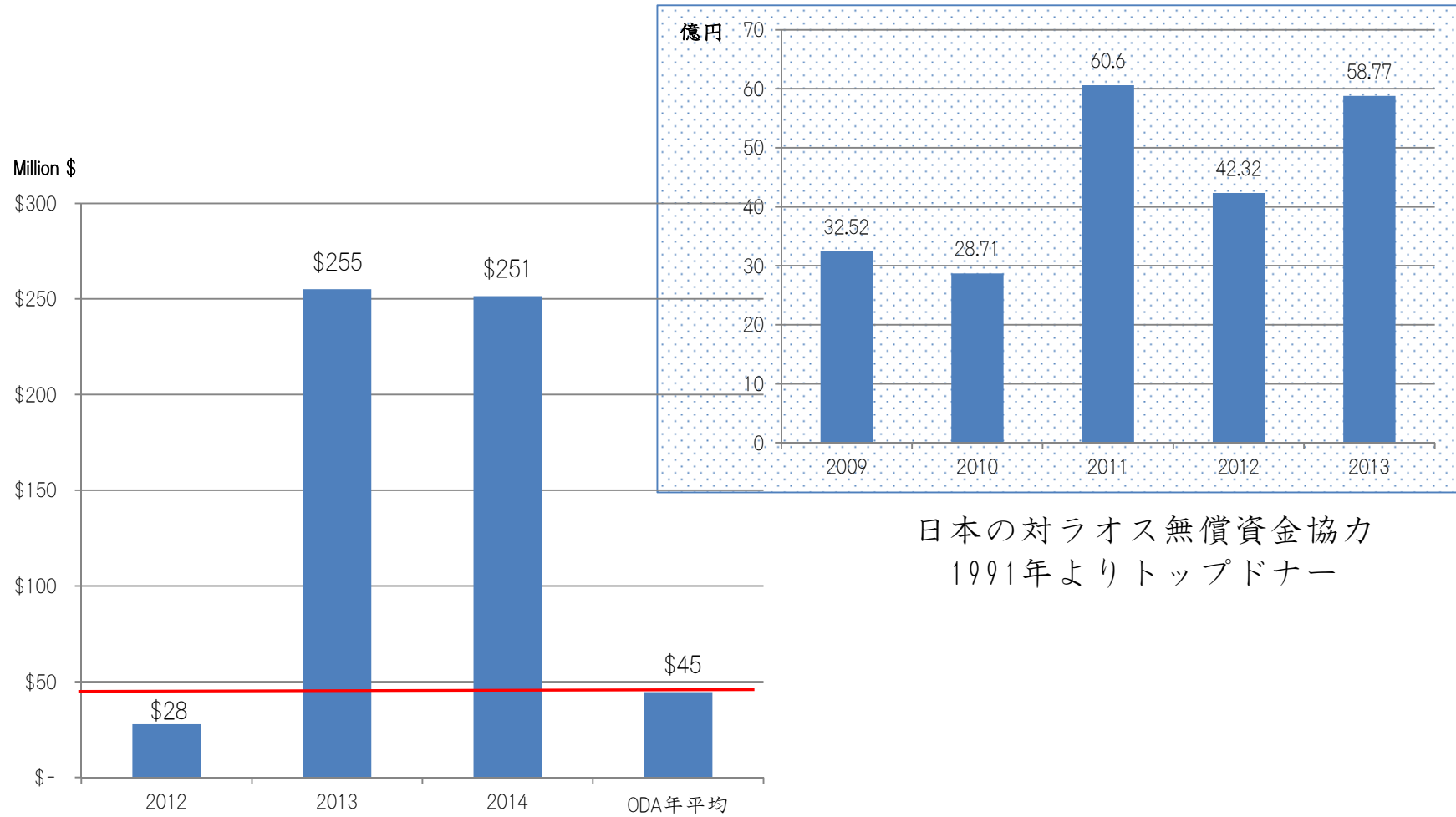
サワンナケート県知事特別顧問/チャンパーサック県知事特別顧問

ラオス国立大学大学院客員教授

サワンナケート国立大学客員教授

経済学博士

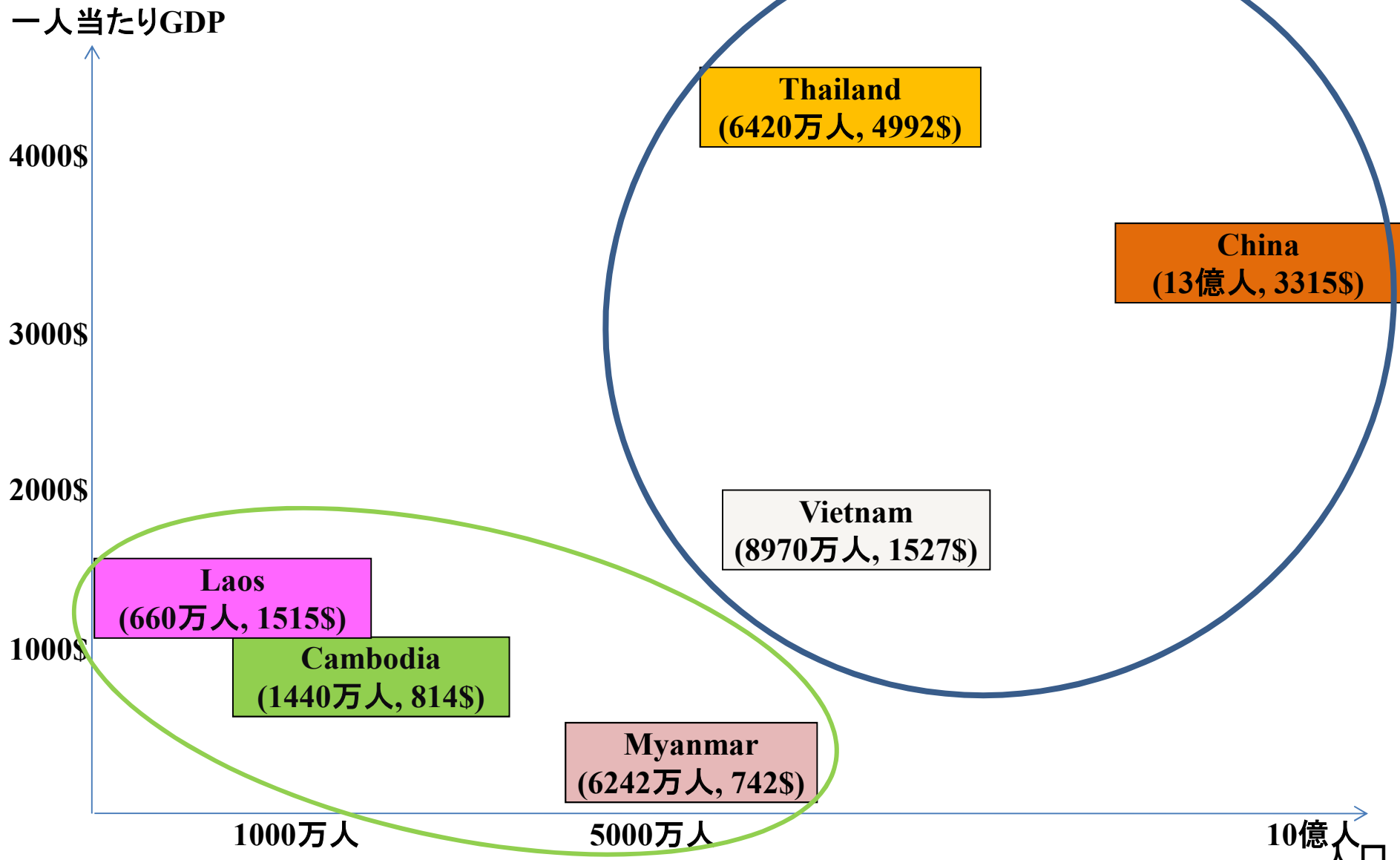
日本の対ラオス直接投資 vs 日本のODA



日本の対ラオス無償資金協力
1991年よりトップドナー

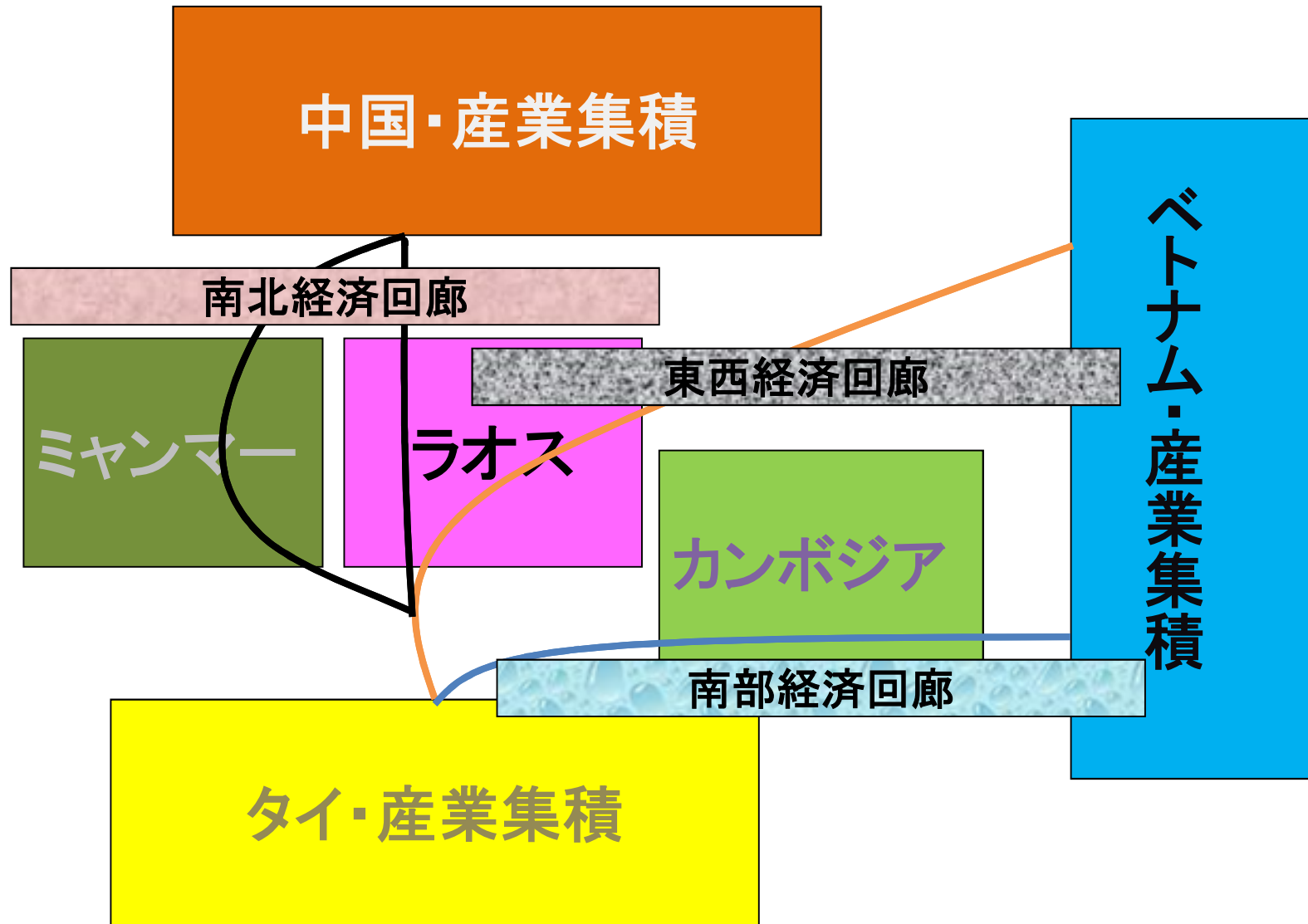
Sub-Regionally
Complementary
Industrialization
地域補完型工業化
チャイナプラスワン
タイプラスワン

CLMV間格差: Development Stage of Mekong Sub-Regional Economies



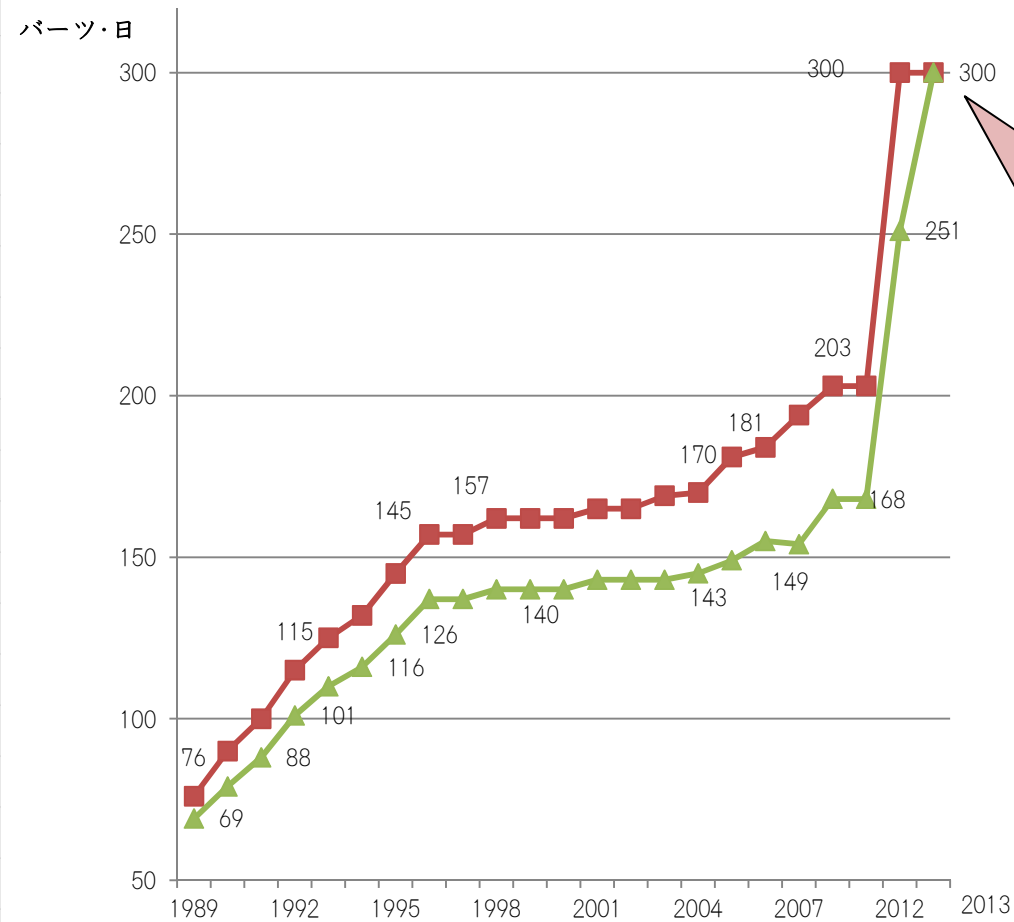
(Source) Motoyoshi Suzuki

地域経済統合：産業集積と経済回廊



バンコク周辺地域・チェンマイ地域の最低賃金の推移

年	パーツ/日
1989	76
1990	90
1991	100
1992	115
1993	125
1994	132
1995	145
1996	157
1997	157
1998	162
1999	162
2000	162
2001	165
2002	165
2003	169
2004	170
2005	181
2006	184
2007	194
2008	203
2009	203
2012	300

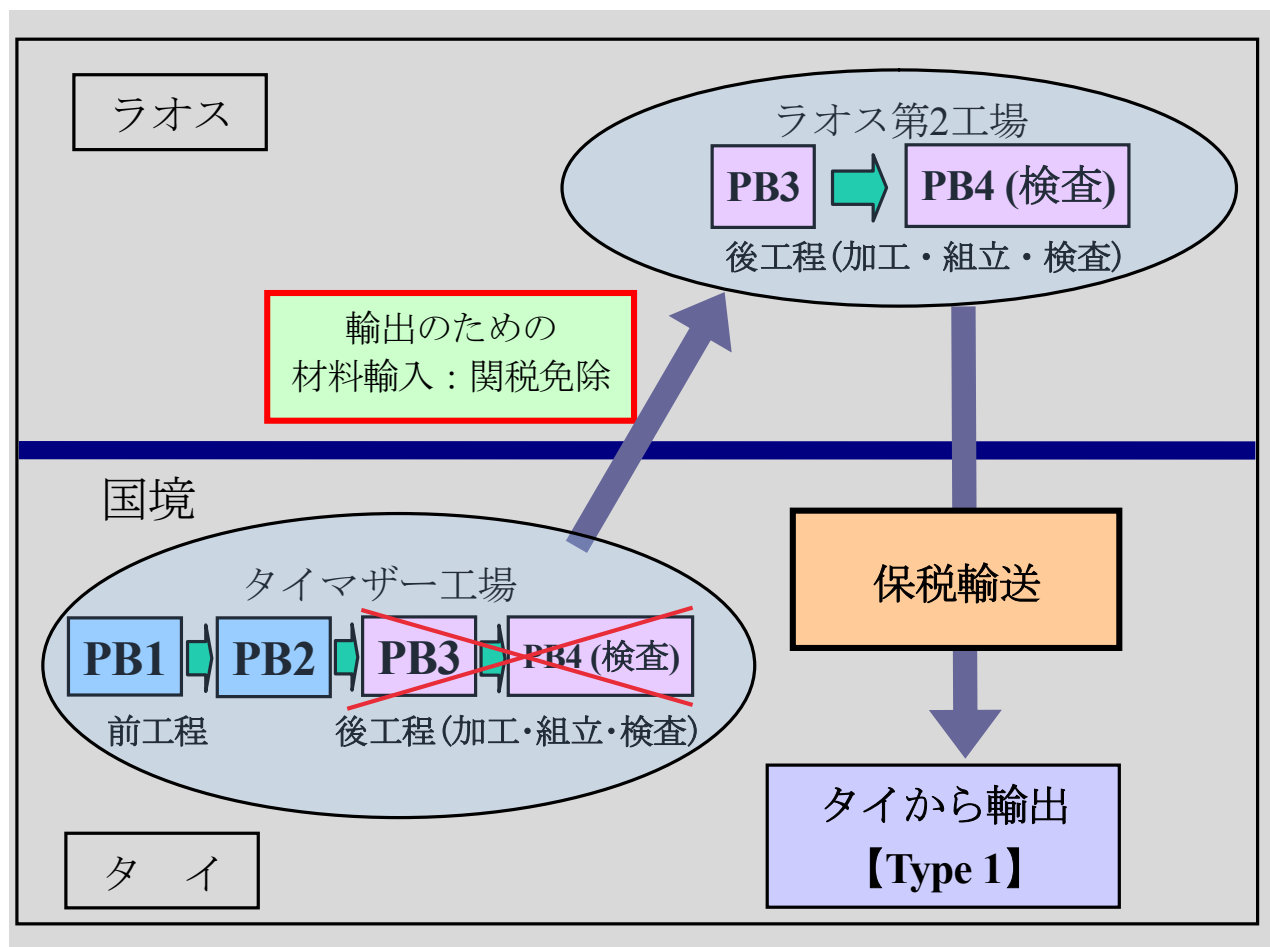


(出所) Thai Statistics Bureau, *Yearbook of Labour Statistics*
より筆者作成

Wage Differentials between Thai and Laos

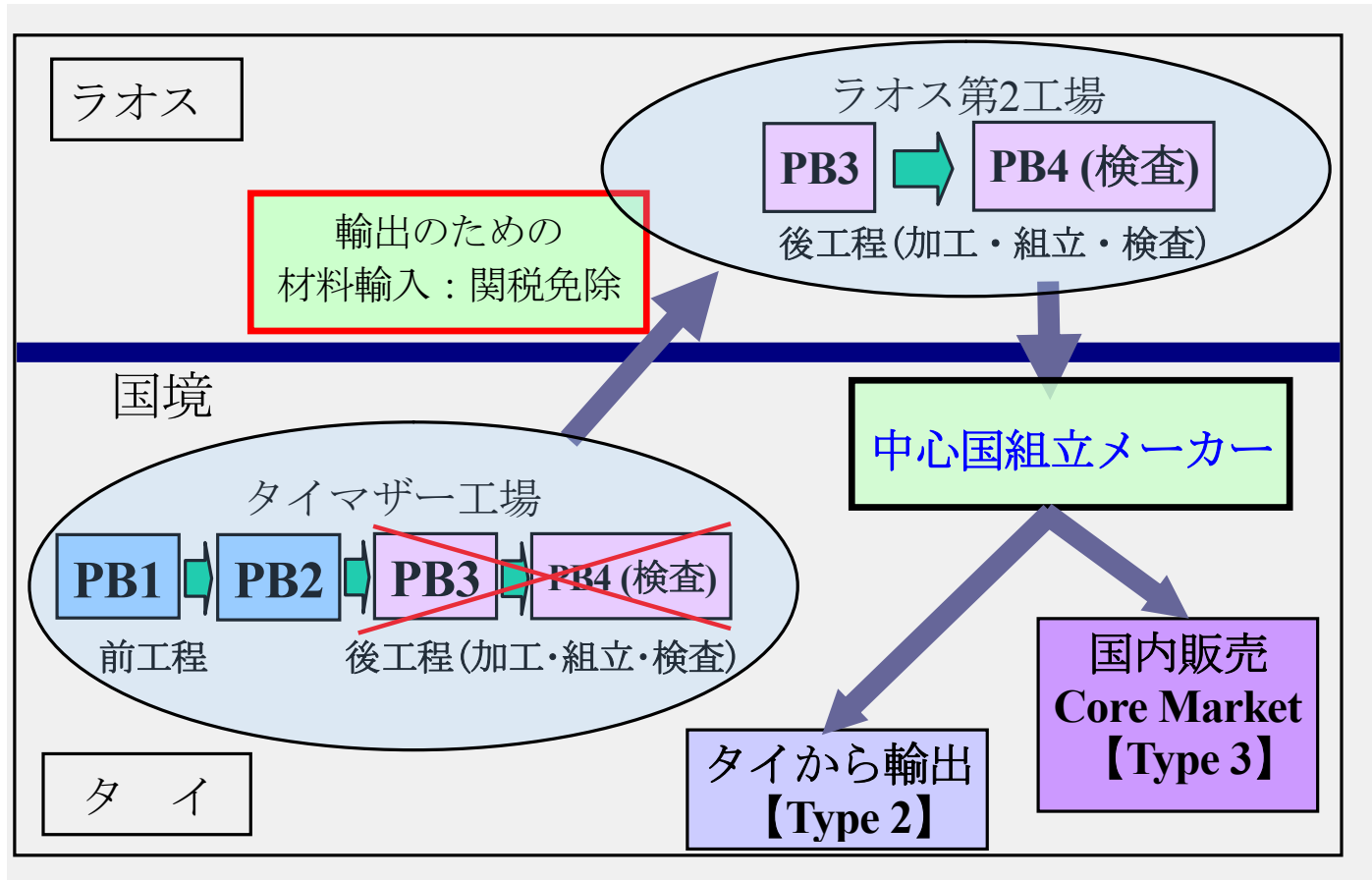
	項目	Items	Japanese factories in Thai	Jap. Factories in Laos	Wage differential
1	基本給	Basic salary (Operators)	26days × 300B/day=7800B/Month→244\$	626,000Kip/Month→78\$	3.1 times
2	OT	OT	Pay	Pay	
3	皆勤手当	Diligent Allowance	400~600B/M→12~20\$	5\$	
4	食費代	Meal subsidy	10~20\$	5~20\$	
5	通勤代	Bus service/ Transportation subsidy	20\$	5\$	
6	社会保険	Social insurance		5% of Basic salary	
7	プロビデント ファンド	Provident fund	3% of Basic salary		
8	寮費	Dormitory	◎	◎	
小計		Sub total	291~309\$	93~110\$	2.6~3.3 times
10	賞与	Bonus	1~10 Months	No pay	
11	永年勤続表彰	Long service award	◎	No pay	
12	シフト割増金	Shift allowance	◎	No pay	
13	危険手当	Allowance for danger	◎	No pay	
14	ユニフォーム	Uniform	◎	No pay	
15	社内教育	Training inside the company	◎	No pay	
16	社外教育	Training outside the company	◎	No pay	
17	本邦研修	Training in Japan	◎	No pay	
18	教育補助金	Subsidy for education	◎	No pay	
19	生活費補助	Subsidy for living	◎	No pay	
20	社内旅行	Company trip	◎	No pay	
21	パーティー	Party	◎	No pay	
22	慶弔	Birth	500B up to 2 babies	No pay	
		Funeral	Death 10,000B	No pay	
23	住宅手当	Housing Allowance	◎	No pay	
24	医療補助	Medical benefit	◎	No pay	
25	図書館・ 体育館維持費	Welfare facilities (Library, gym, etc.)	◎	No pay	
合計タイバツ		Total Thai Bath	12944~14944B/M	No pay	
合計 US\$		Total US\$	\$405~467 Average \$437	93~110\$ Average\$102	3.7~5.0 times Average 4.3times

前・後工程間垂直分業フラグメンテーション(タイ保税輸送)
Vertical Fragmentation between Pre- and Final-Assemblies
(Direct Export from Laos to the World through Bonded Transport in Thailand)



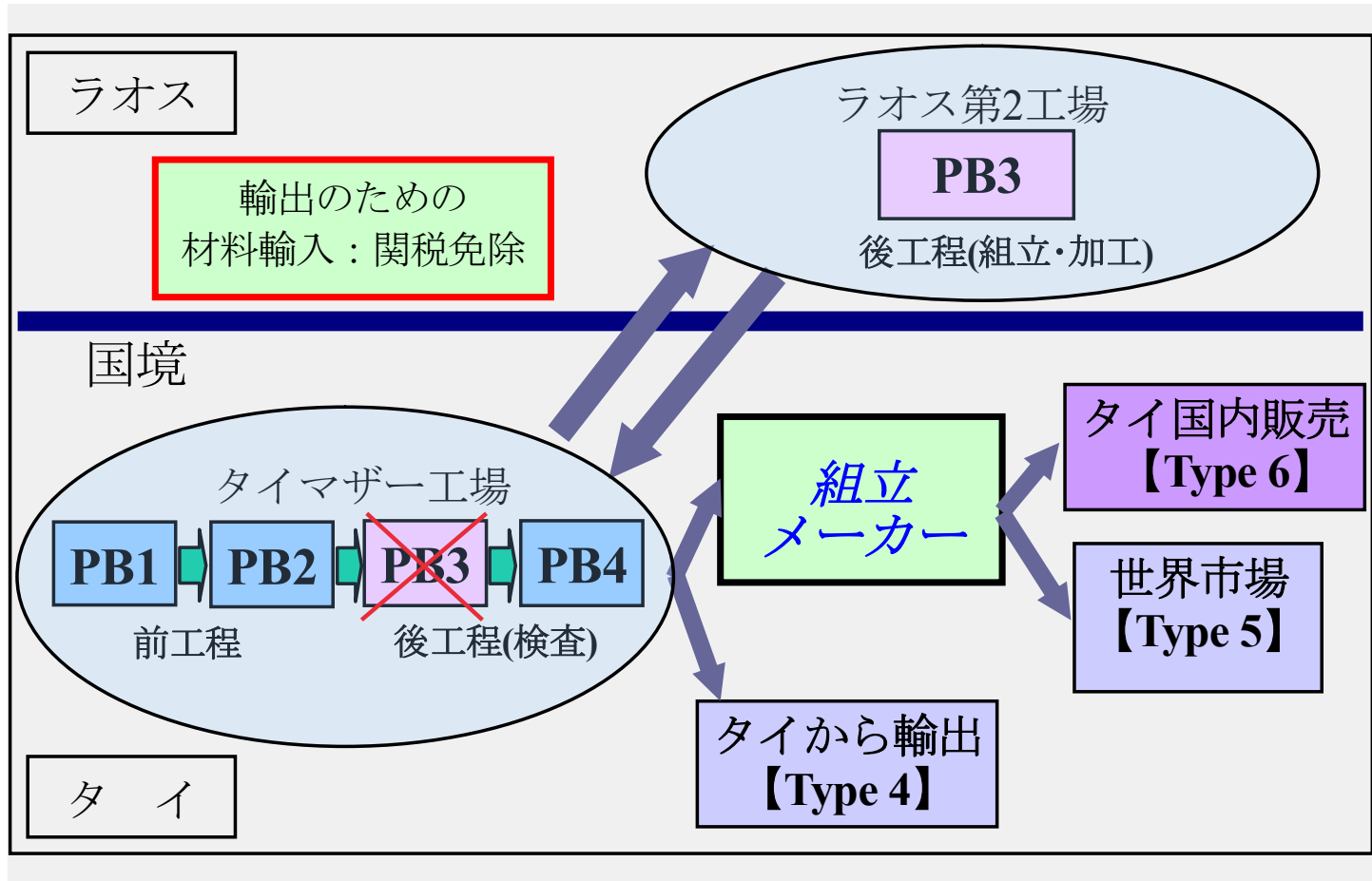
(出所) 鈴木基義『ラオス経済の基礎知識』ジェトロ。2009年。

前・後工程間垂直分業(中心国組立工場へ納入)
Vertical Fragmentation between Pre- and Final-Assemblies
(Supply for Assembly Factories in the Core)



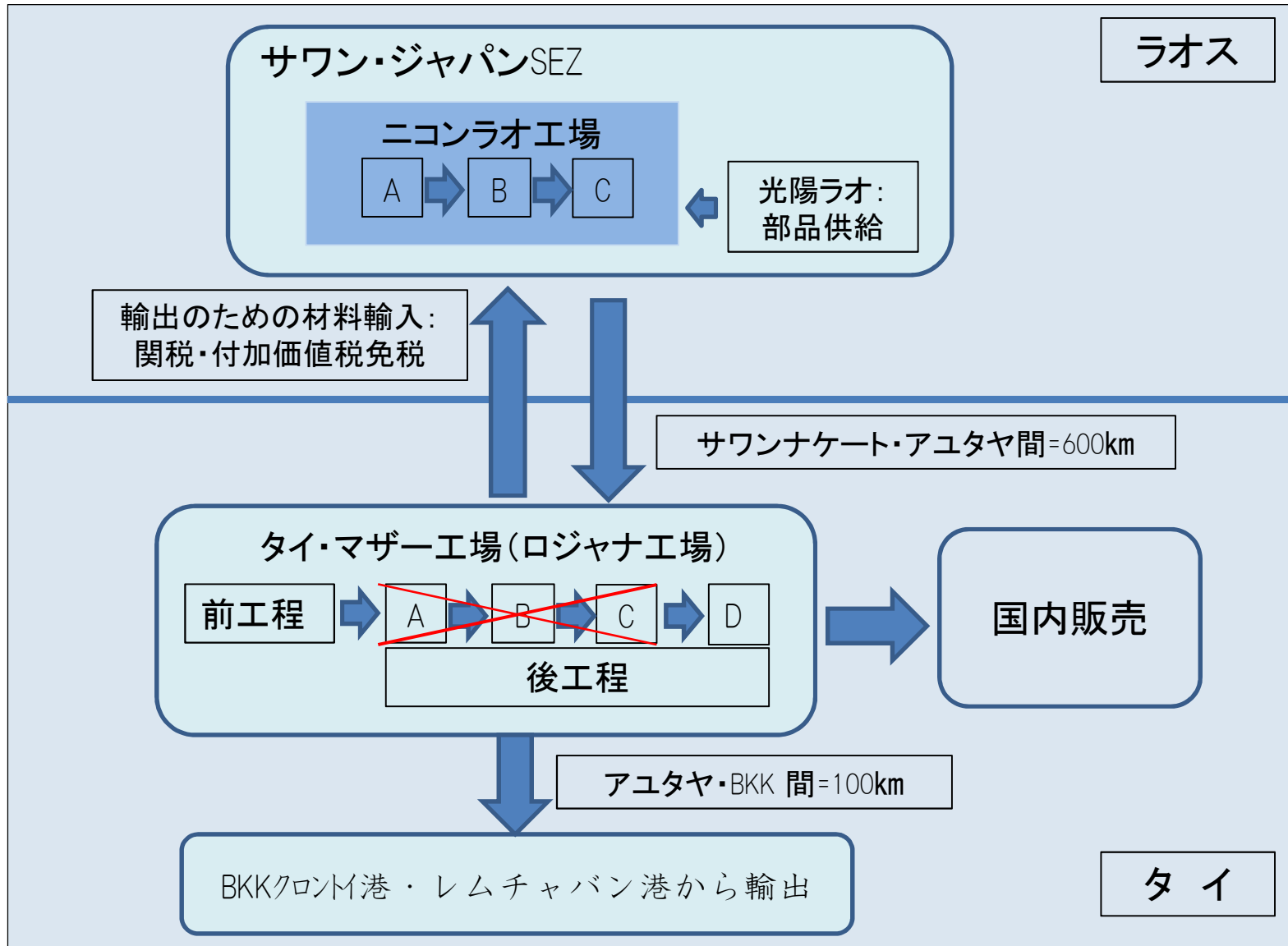
(出所) 鈴木基義『ラオス経済の基礎知識』ジェトロ。2009年。

ブーメラン型垂直分業(戻し工程)
Boomerang-Type Vertical Fragmentation

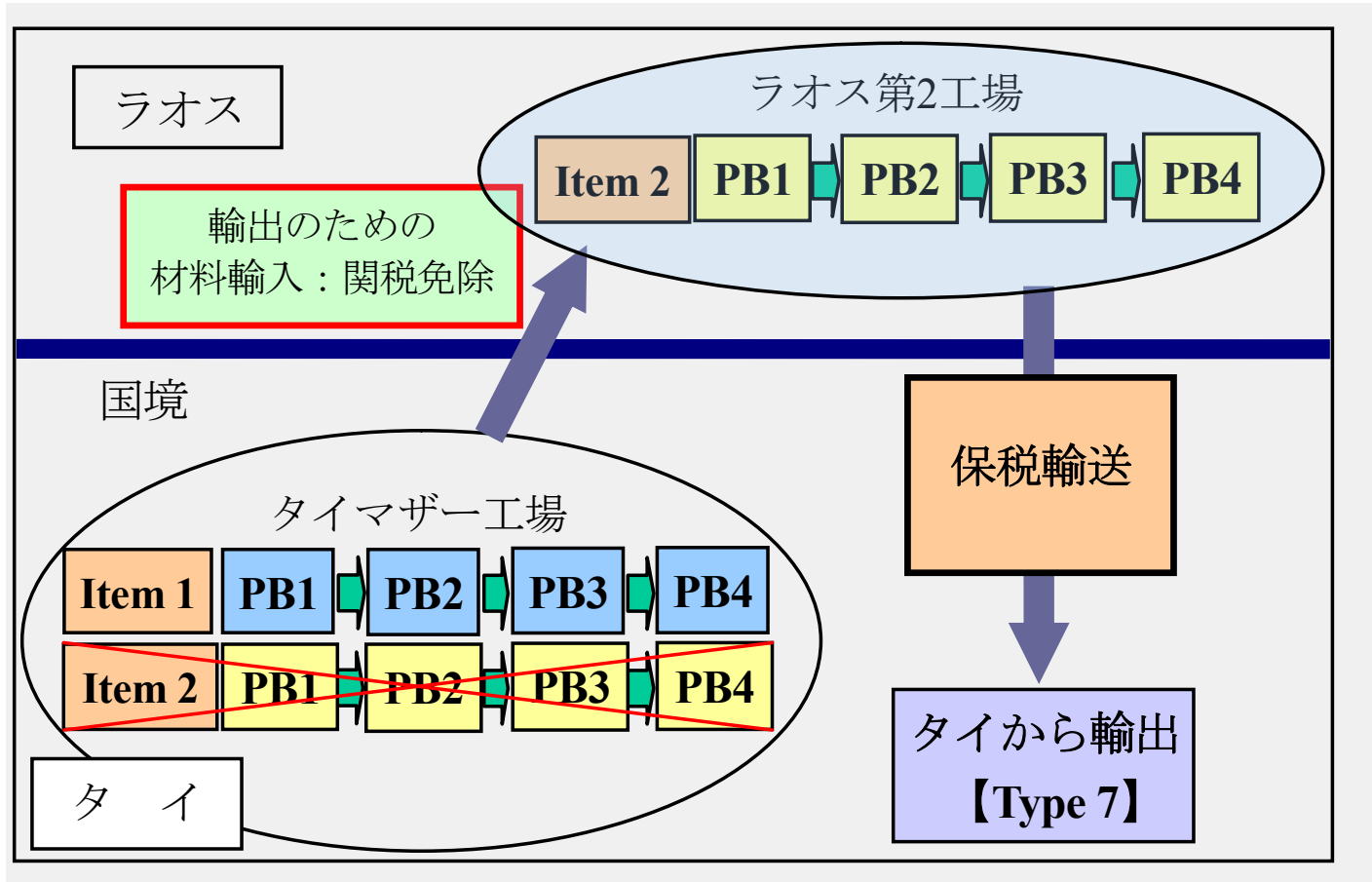


(出所) 鈴木基義『ラオス経済の基礎知識』ジェトロ。2009年。

ブーメラン型垂直分業(戻し工程)：ニコン型
Boomerang-Type Vertical Fragmentation

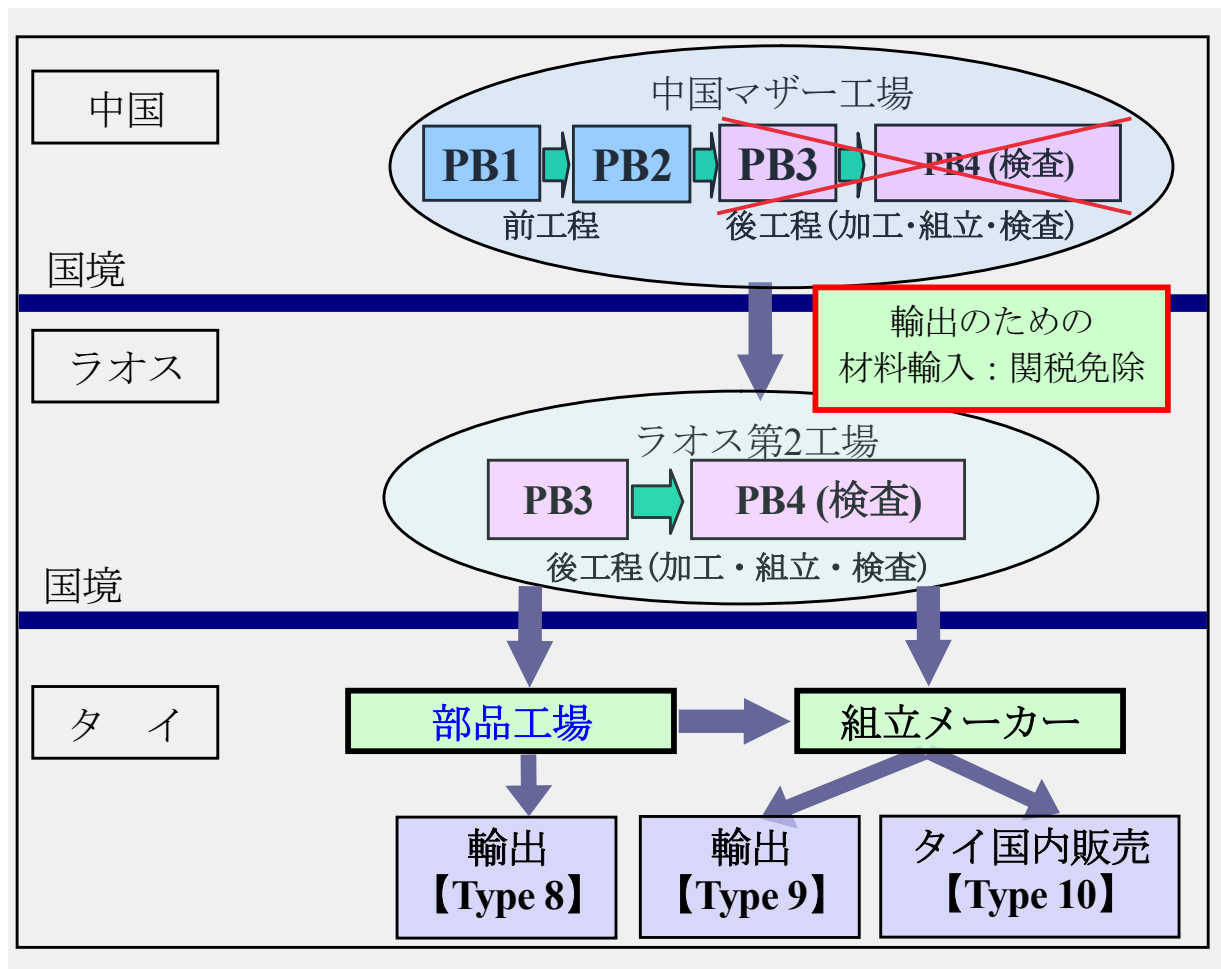


製品差別水平分業型フラグメンテーション Product Differentiation Horizontal Fragmentation



(出所) 鈴木基義『ラオス経済の基礎知識』ジェトロ。2009年。

3国間垂直分業型フラグメンテーション
Vertical Fragmentation among Three Countries (Core-Periphery-Core)

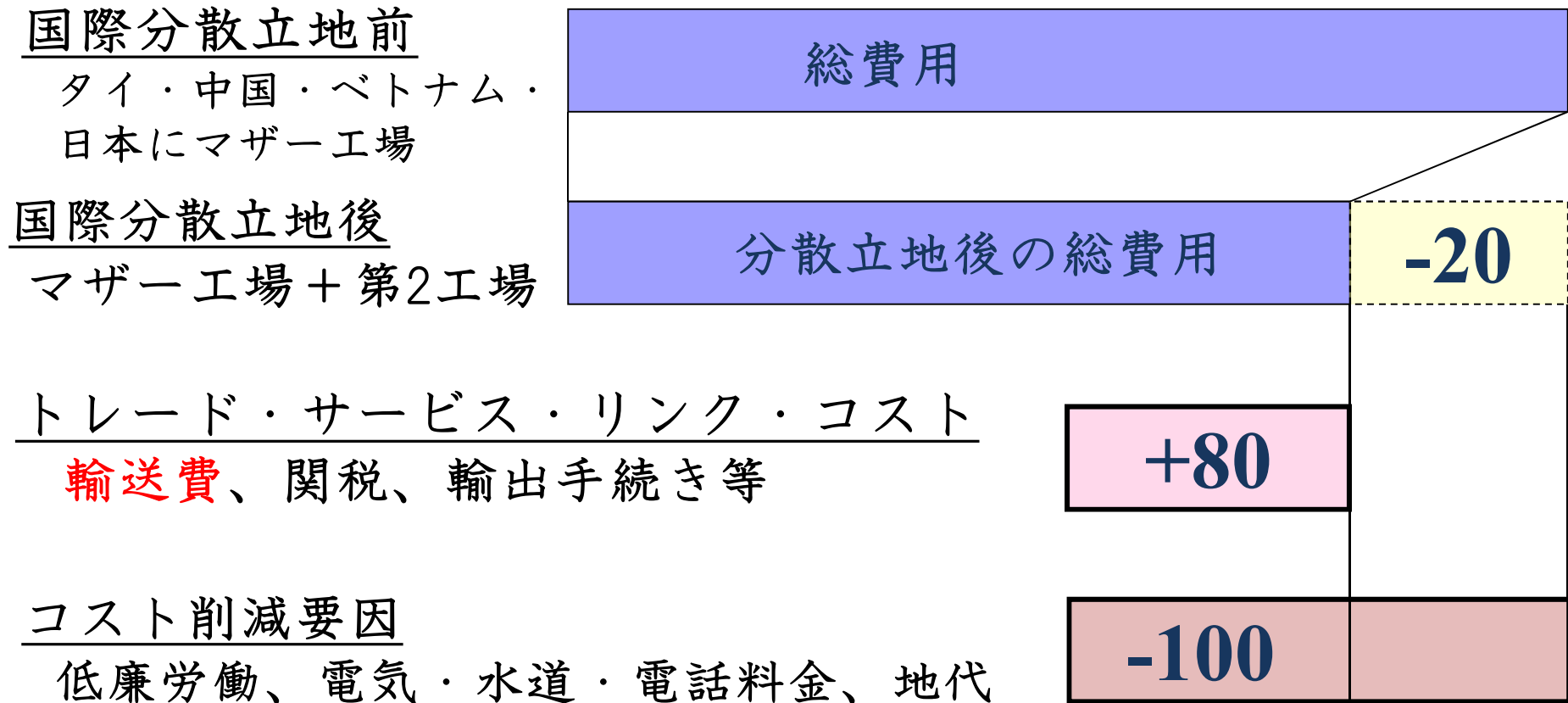


(出所) 鈴木基義『ラオス経済の基礎知識』ジェトロ。2009年。

Fragmentation

國際分散立地

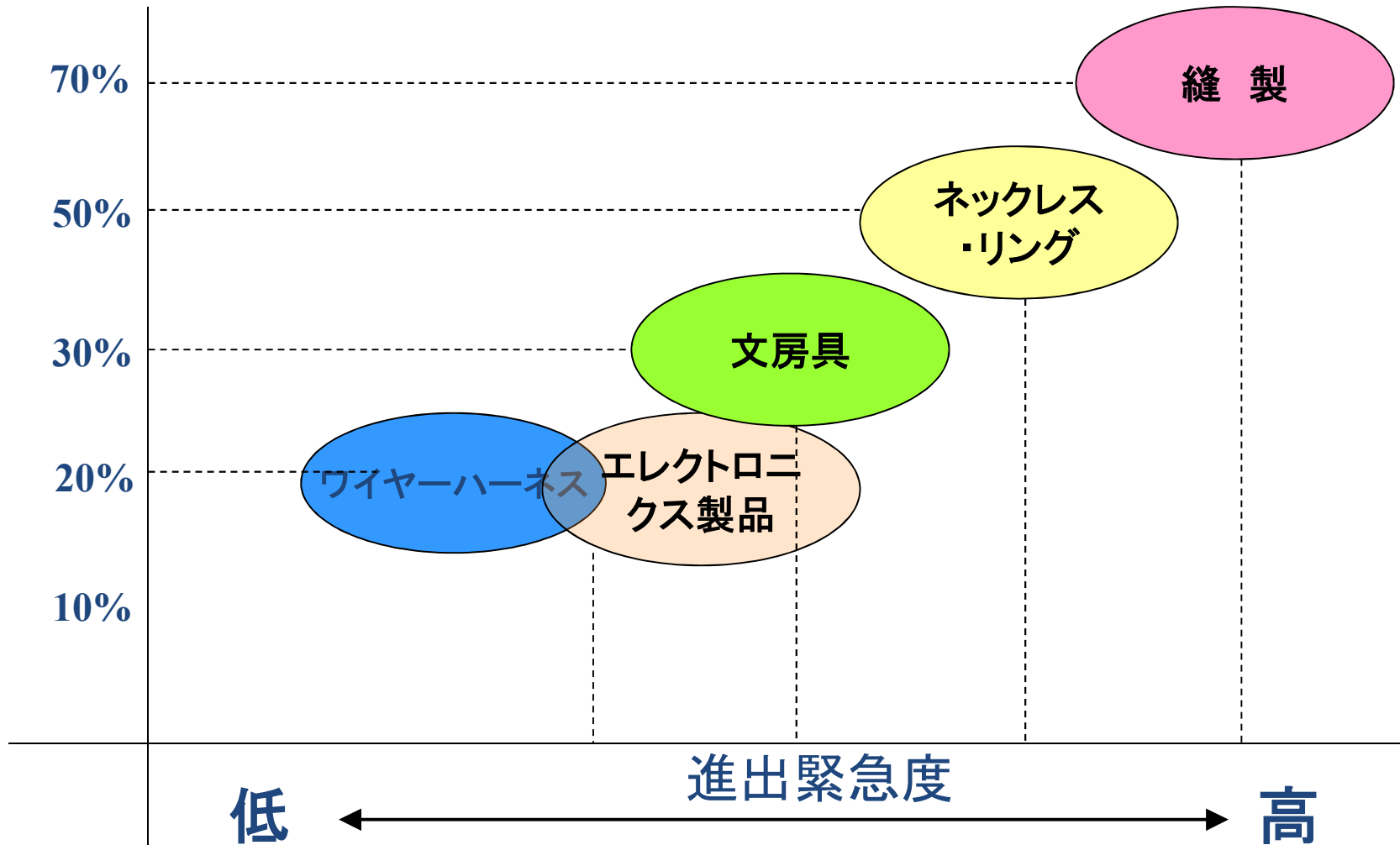
ラオス第2工場設立要件



(Source) Motoyoshi Suzuki "Feasibility of Industrialization Strategy of the Lao PDR," Ikuo Kuroiwa (Edited), Expansion of the Production Networks into the Less Developed ASEAN Region: Implications for Development Strategy, National University of Singapore. 2009

人件費と進出緊急度の関係

タイ・マザー工場の総生産費に
占める直接・間接人件費の割合



物流問題

運送費 バンコク港⇄ヴィエンチャン 材料を輸入したコンテナーに製品を積載し輸出するケース

	BKK → VTE → BKK	輸入		輸出		合計
	VTE → BKK → VTE	Set/Invoice	諸経費	Set/Invoice	諸経費	
20Fコンテナー	\$1,300	\$180	\$200	\$150	\$180	\$2,010
40F コンテナー	\$1,350	\$180	\$200	\$150	\$180	\$2,060
10輪トラック	\$750	\$180	\$200	\$150	\$180	\$1,460

(出所) Societe Mixed Transport (SMT社)に対する聞き取り調査

第2工場：月1往復当たりの損益分岐雇用数

1往復/月	BKK⇄VTE 運送費合計	一人当たり人件費メリット: タイ・ラオス賃金格差 \$/月/人	運送費をカバーする 最小雇用数
20Fコンテナー	\$2,010	\$437- \$102=\$335	\$2,010 ÷ \$335=6人
40F コンテナー	\$2,060	\$437- \$102=\$335	\$2,060 ÷ \$335=6人
10輪トラック	\$1,460	\$437- \$102=\$335	\$1,460 ÷ \$335=4人

(出所)ラオス計画投資省 鈴木 基義作成

第2工場:月間材料輸入1回(片荷)+製品輸出1回(片荷):バンコク港⇄ヴィエンチャン運送費

		BKK→VTE→BKK	輸入		輸出		合計	月総計
		VTE→BKK→VTE	Set/Invoice	諸経費	Set/Invoice	諸経費		
20Fコンテナ	輸入	\$1,300	\$180	\$200			\$1,680	\$3,330
20Fコンテナ	輸出	\$1,300			\$150	\$180	\$1,650	
40F コンテナ	輸入	\$1,350	\$180	\$200			\$1,730	\$3,430
40F コンテナ	輸出	\$1,350			\$150	\$180	\$1,700	
10輪トラック	輸入	\$750	\$180	\$200			\$1,130	\$2,230
10輪トラック	輸出	\$750			\$150	\$180	\$1,100	

第2工場:運送費をカバーする最小雇用数(月):コンテナ 月間材料輸入1回(片荷)+製品輸出1回(片荷)当り

片 荷	輸出入回数	1往復当り 運送費合計	月総計	一人当り人件費メリット: タイ・ラオス賃金格差 \$/月/人	運送費をカバーする 最小雇用数(月)
20Fコンテナ	輸入1回	\$1,680	\$3,330	\$437- \$102=\$335	\$3,330 ÷ \$335=10人
20Fコンテナ	輸出1回	\$1,650			
40F コンテナ	輸入1回	\$1,730	\$3,430	\$437- \$102=\$335	\$3,430 ÷ \$335=10人
40F コンテナ	輸出1回	\$1,700			
10輪トラック	輸入1回	\$1,130	\$2,230	\$437- \$102=\$335	\$2,230 ÷ \$335=7人
10輪トラック	輸出1回	\$1,130			

(出所)ラオス計画投資省 鈴木 基義作成

A社: 運送費をカバーする最小雇用数(月):
 コンテナ 月間材料輸入4回+輸出8回

	1往復当り 運送費合計	輸入 回数	輸出 回数	BKK⇄VTE 運送費合計	月・合計 運送費	一人当り人件費メリット: タイ・ラオス賃金格差 \$/月/人	運送費をカバーする 最小雇用数(月)
20Fコンテナ	\$1,680		2	\$3,360	\$20,480	\$437- \$102=\$335	\$20,480 ÷ \$335=61人
40F コンテナ	\$1,700		6	\$10,200			
40F コンテナ	\$1,730	4		\$6,920			

(出所)ラオス計画投資省 鈴木 基義作成

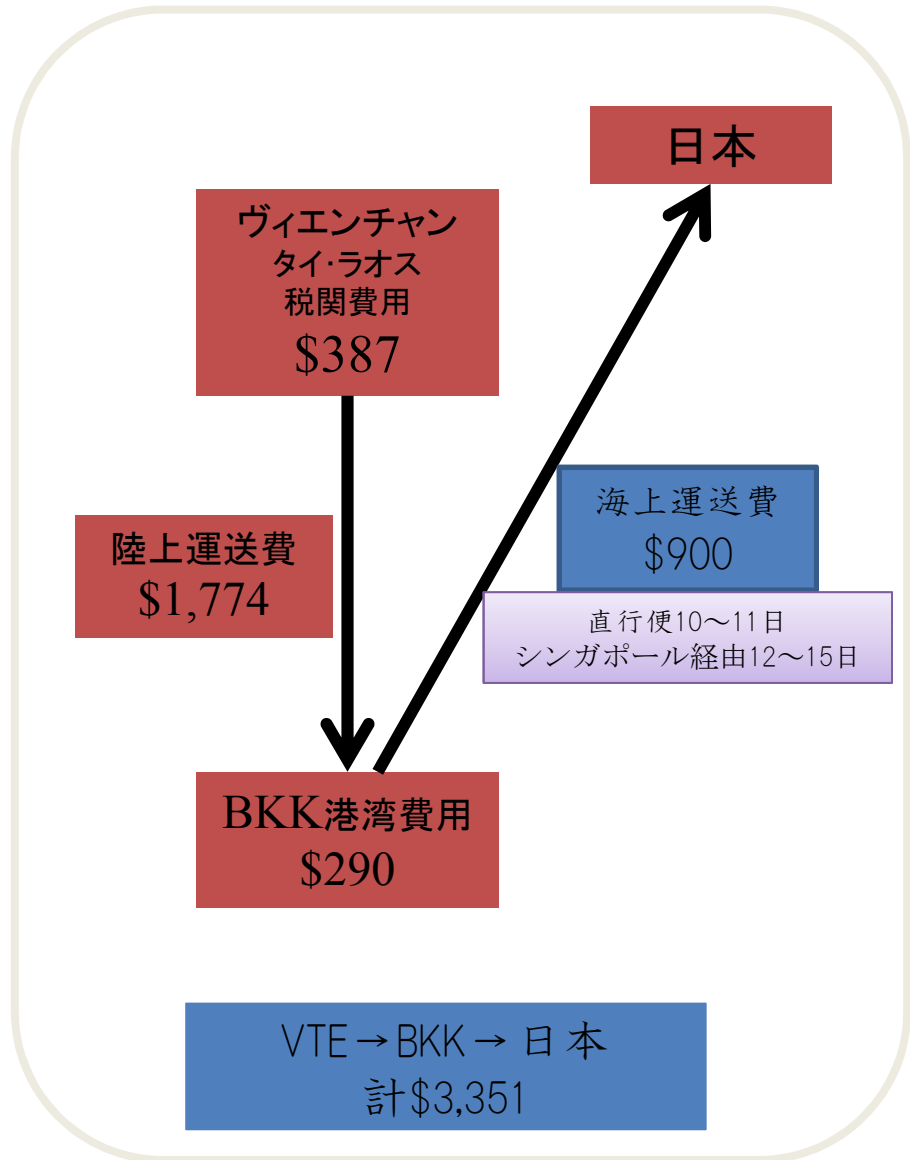
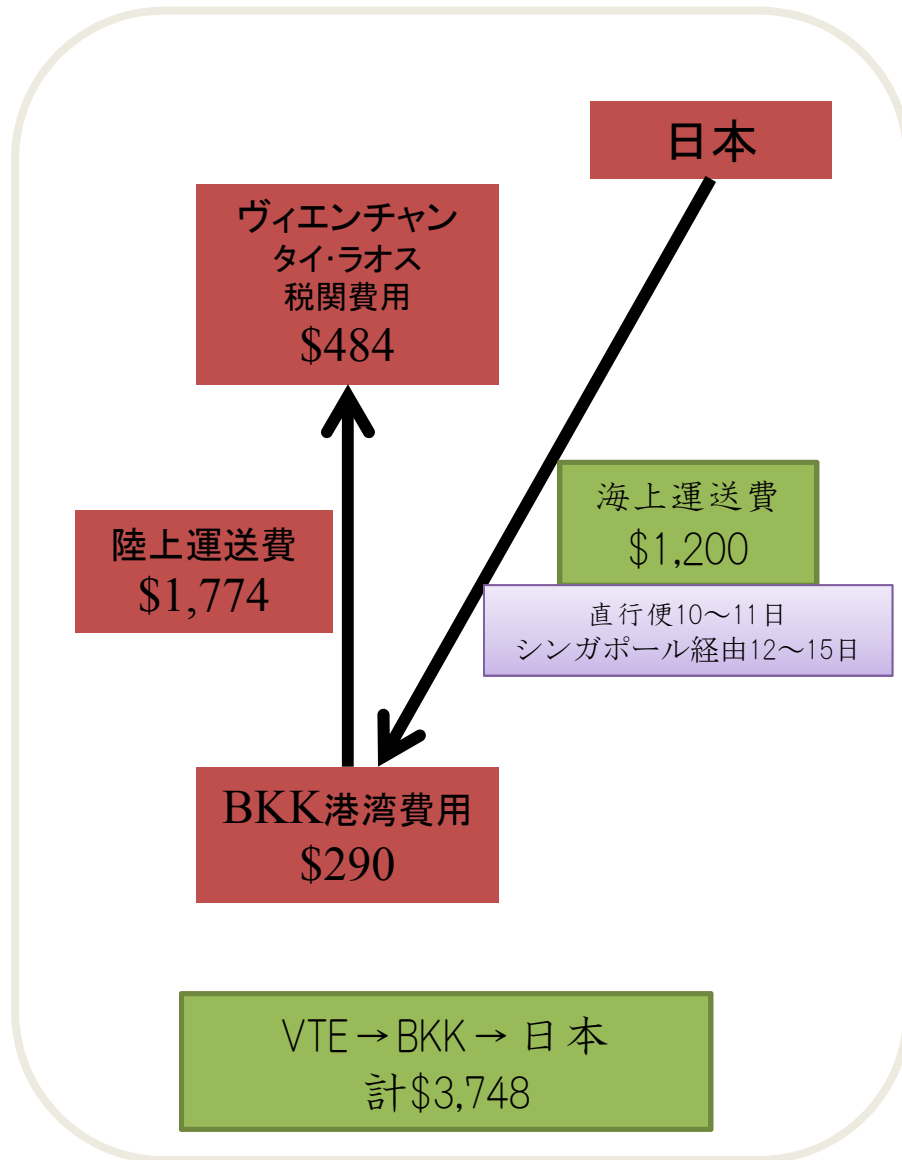
A社: 人件費節約による月・年間労賃節約額(筆者推定)

月・合計 運送費	一人当り人件費メリット: タイ・ラオス賃金格差 \$/月/人	運送費をカバーする 最小雇用数(月)	ワーカー数 2012年 9月20日	月・剰余価値 労賃節約額	年・剰余価値: 労賃節約額
\$20,480	\$437- \$102=\$335	\$20,480 ÷ \$335=61人	515人	(515-61)人 × \$335 =\$152,090	\$152,090 × 12か月 =\$1,825,080

454人

(出所)ラオス計画投資省 鈴木基義作成

日本・ラオス間ロジスティック費用



日本・ラオス間ロジスティック費用

材料輸入：日本→ラオス

	JP→BKK 海上運賃	BKK 港湾費用	BKK→VTE陸送 費	タイ・ラオス 税関費用	合計
10 Wheel Truck	\$ 500	\$ 355	\$ 968	\$ 484	\$ 2,307
20 Feet	\$ 800	\$ 258	\$ 1,613	\$ 484	\$ 3,155
40 Feet	\$ 1,200	\$ 290	\$ 1,774	\$ 484	\$ 3,748

(出所) LOGITEM (THAILAND) CO., LTD内部資料より鈴木作成

製品輸出：ラオス→日本

	VTE→BKK 陸送費	BKK 港湾費用	BKK→JPN海上 運賃	タイ・ラオス 税関費用	合計
10 Wheel Truck	\$ 968	\$ 226	\$ 300	\$ 387	\$ 1,881
20 Feet	\$ 1,613	\$ 226	\$ 600	\$ 387	\$ 2,826
40 Feet	\$ 1,774	\$ 290	\$ 900	\$ 387	\$ 3,351

(出所) 鈴木基義作成

日本・ラオス賃金格差

日本・月額最低賃金	ラオス・最低賃金	一人当たり月額賃金差	倍率
¥749/時×8時間/日×26日=¥155,792=\$1,947	\$102	\$1,947- \$102 = \$1,845	18.1倍

(出所)厚生労働省『地域別最低賃金の全国一覧』2012年。http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/minimumchiran/index.html

運送費をカバーする最小雇用数(月): 月間材料輸入1回+輸出1回

	輸入費用	輸出費用	合計	一人当たり 月額賃金差	運送費をカバーする 最小雇用数
10 Wheel Truck	\$ 2,307	\$ 1,881	\$ 4,188	\$ 1,845	$4,188 \div \$1,845 = 2.3$ 人
20 Feet	\$ 3,155	\$ 2,826	\$ 5,981	\$ 1,845	$5,981 \div \$1,845 = 3.2$ 人
40 Feet	\$ 3,748	\$ 3,351	\$ 7,099	\$ 1,845	$7,099 \div \$1,845 = 3.8$ 人

(出所) 鈴木基義作成

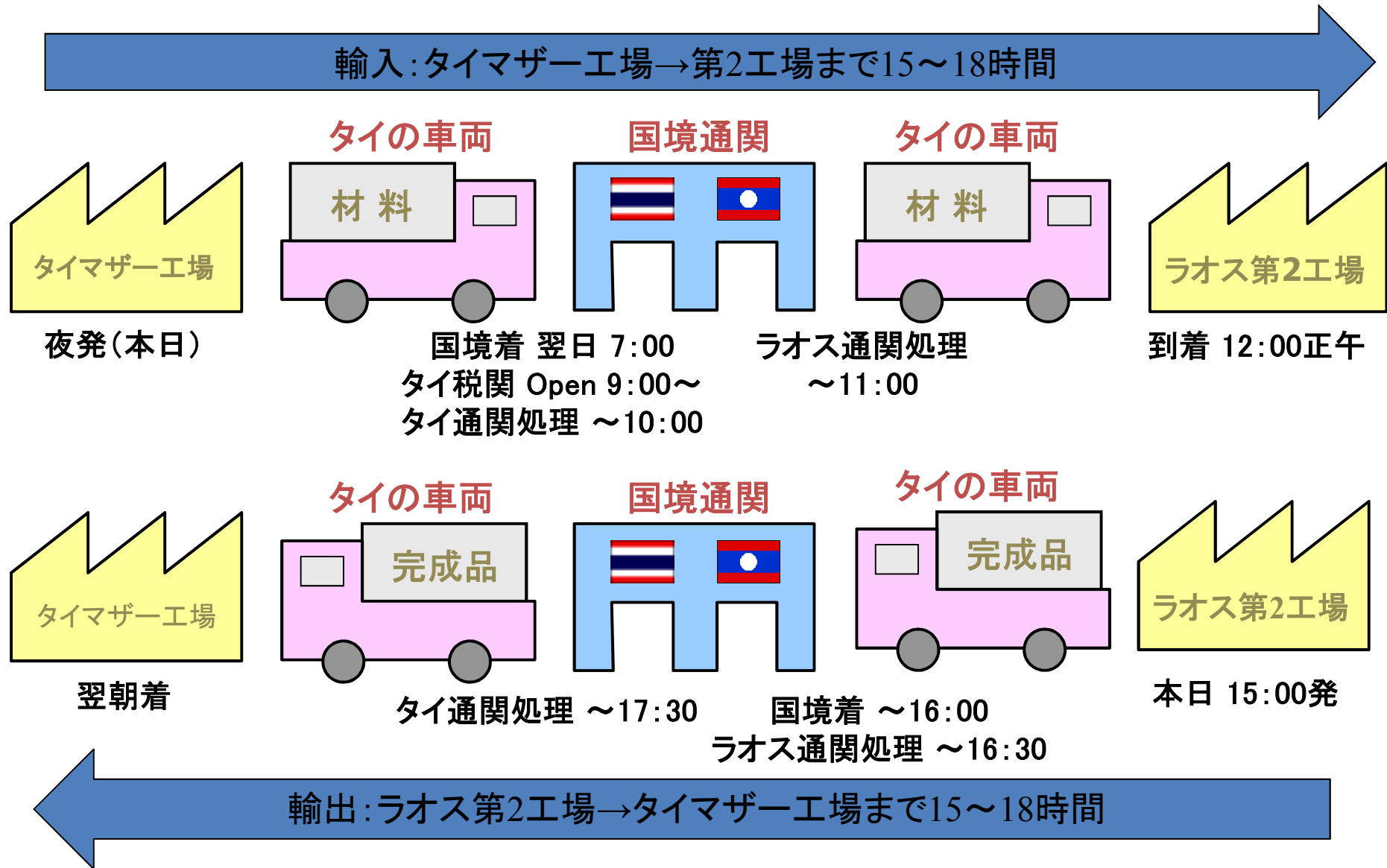
人件費節約による月・年間労賃節約額

月・合計 運送費: 40F	一人当たり人件費メリット: 日本・ラオス賃金格差 \$/月/人	運送費をカバーする 最小雇用数(月)	ラオス 第2工場: ワーカー数	月・剰余価値 労賃節約額	年・剰余価値: 労賃節約額
\$ 7,099	\$1,947- \$102 = \$1,845	\$7,099 ÷ \$1,845= 3.8人	100人	(100-3.8)人×\$1,845 =\$177,489 =¥14,199,120	\$177,489×12か月= \$2,129,976 =¥170,398,080
			200人	(200-3.8)人×\$1,845 =\$361,989 =¥28,956,120	\$361,989×12か月= \$4,343,868 =¥347,509,440

(出所) 鈴木基義作成

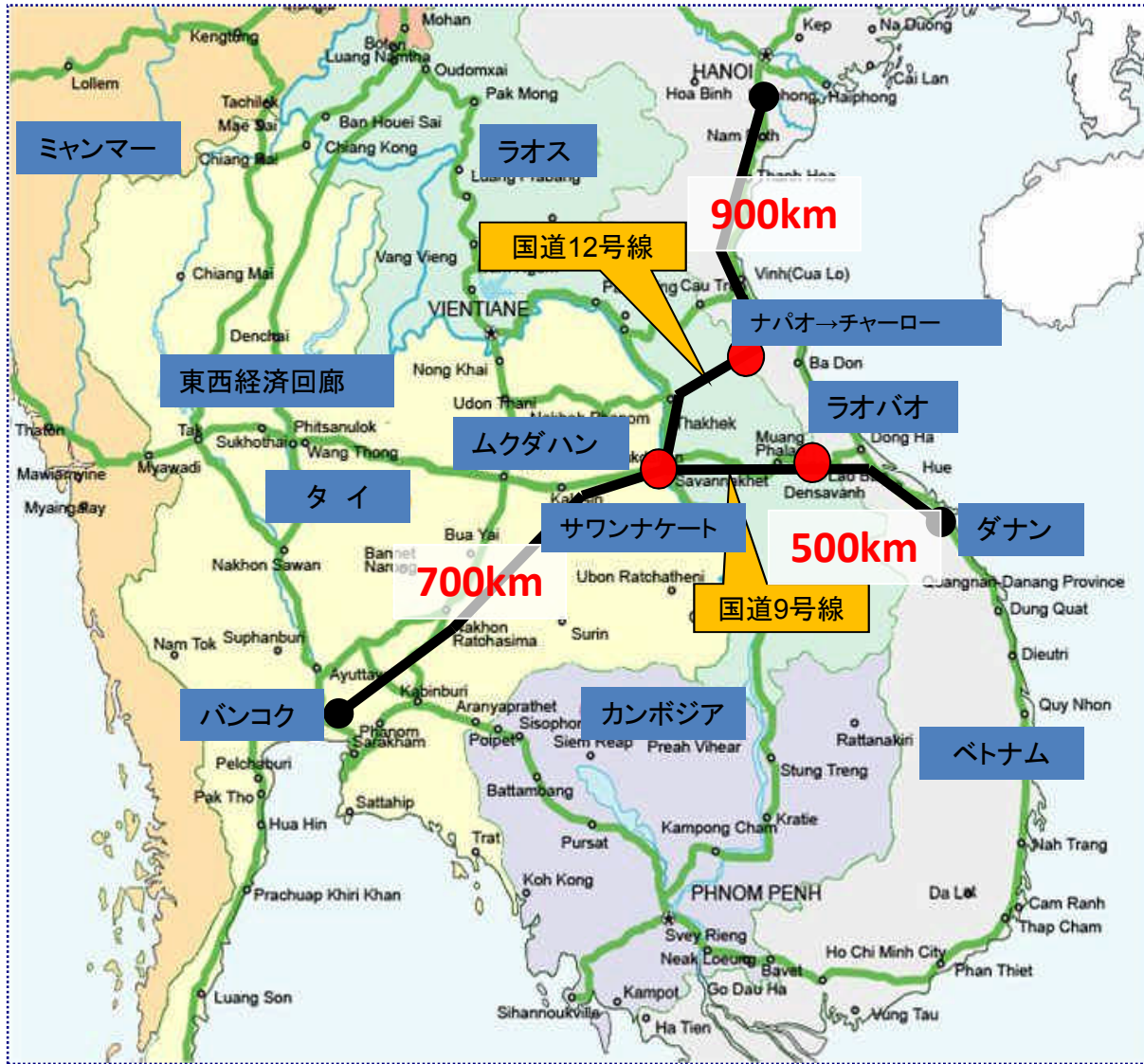
リードタイム(時間軸)

Vientiane Automation Products:タイ矢崎業務提携



經濟特區 (SEZ) · 工業團地

Mekong Landbrige (MLB) Transport Route Map メコン・ランドブリッジ輸送 ルート地図

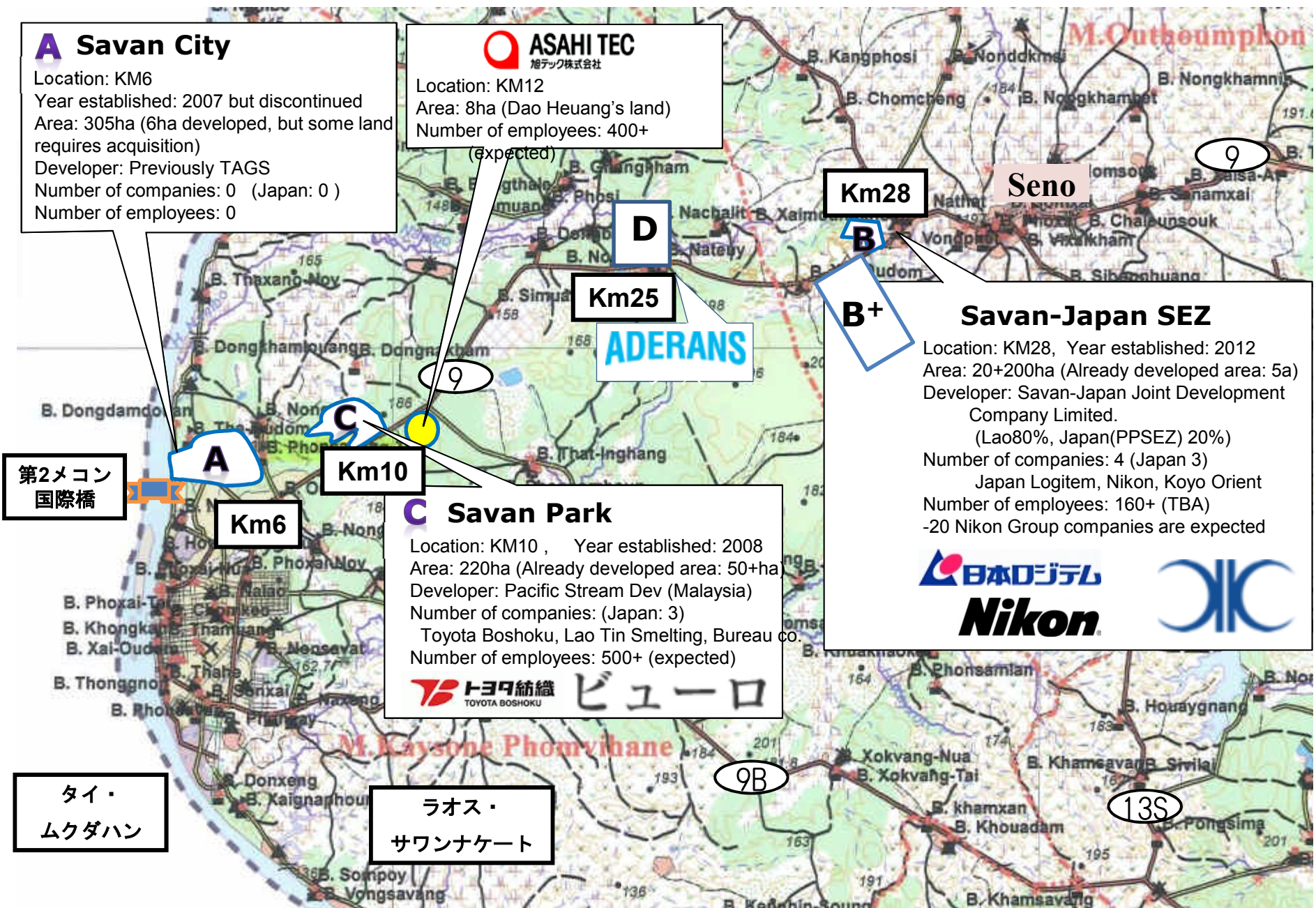


ラオス車両: ベトナム・タイ・雲南・カンボジア可(登録制40台以内)
 タイ車両: ラオス可・ベトナム不可
 ベトナム車両: タイ不可

Route 12号線
 Road from Thakhek to Naphao 道路状況
 トンネル計画中



香港→(2日)→ダナン→(15時間)→サワンナケート
 ダナン港→東京直行便。ダナン港出港毎木曜日、東京港着は9日後
 BKK→サワンナケート→ハanoi コンテナ1台分の貨物はスプリット通関込み 飛行機72時間 トラック62時間 海運:週1便 2週間~20日



A Savan City
 Location: KM6
 Year established: 2007 but discontinued
 Area: 305ha (6ha developed, but some land requires acquisition)
 Developer: Previously TAGS
 Number of companies: 0 (Japan: 0)
 Number of employees: 0

ASAHI TEC
 旭テック株式会社
 Location: KM12
 Area: 8ha (Dao Heuang's land)
 Number of employees: 400+
 (expected)

D
 Km25
ADERANS

B
 Km28
Seno
B+
Savan-Japan SEZ
 Location: KM28, Year established: 2012
 Area: 20+200ha (Already developed area: 5a)
 Developer: Savan-Japan Joint Development Company Limited.
 (Lao80%, Japan(PPSEZ) 20%)
 Number of companies: 4 (Japan 3)
 Japan Logitem, Nikon, Koyo Orient
 Number of employees: 160+ (TBA)
 -20 Nikon Group companies are expected

日本デジタル Nikon

C
 Km10
Savan Park
 Location: KM10, Year established: 2008
 Area: 220ha (Already developed area: 50+ha)
 Developer: Pacific Stream Dev (Malaysia)
 Number of companies: (Japan: 3)
 Toyota Boshoku, Lao Tin Smelting, Bureau co.
 Number of employees: 500+ (expected)

トヨタ紡織 TOYOTA BOSHOKU **ビューロ**

第2メコン
国際橋

Km6

タイ・
ムクダハン

ラオス・
サワンナケート

サワンニセノ経済特区：ゾーンA・ゾーンB・ゾーンC・ゾーンD

サワン・ジャパンSEZ





Savan-SENO Special Economic Zone (SaSEZ) SAVAN PARK (Site C) – Commercial and Industrial Hub



Savan Pacifica Development Co. Ltd.

KM10, Nongdeun Village, Route No.9,

Kaisone Phomvihane District,

Savannakhet Province, Lao PDR.

www.savanpark.com

VITA PARK: Vientiane Industry and Trade Area



2014年8月14日 ソムサワート副首相テープカット



2014年8月14日 ケンマニー工業商業大臣



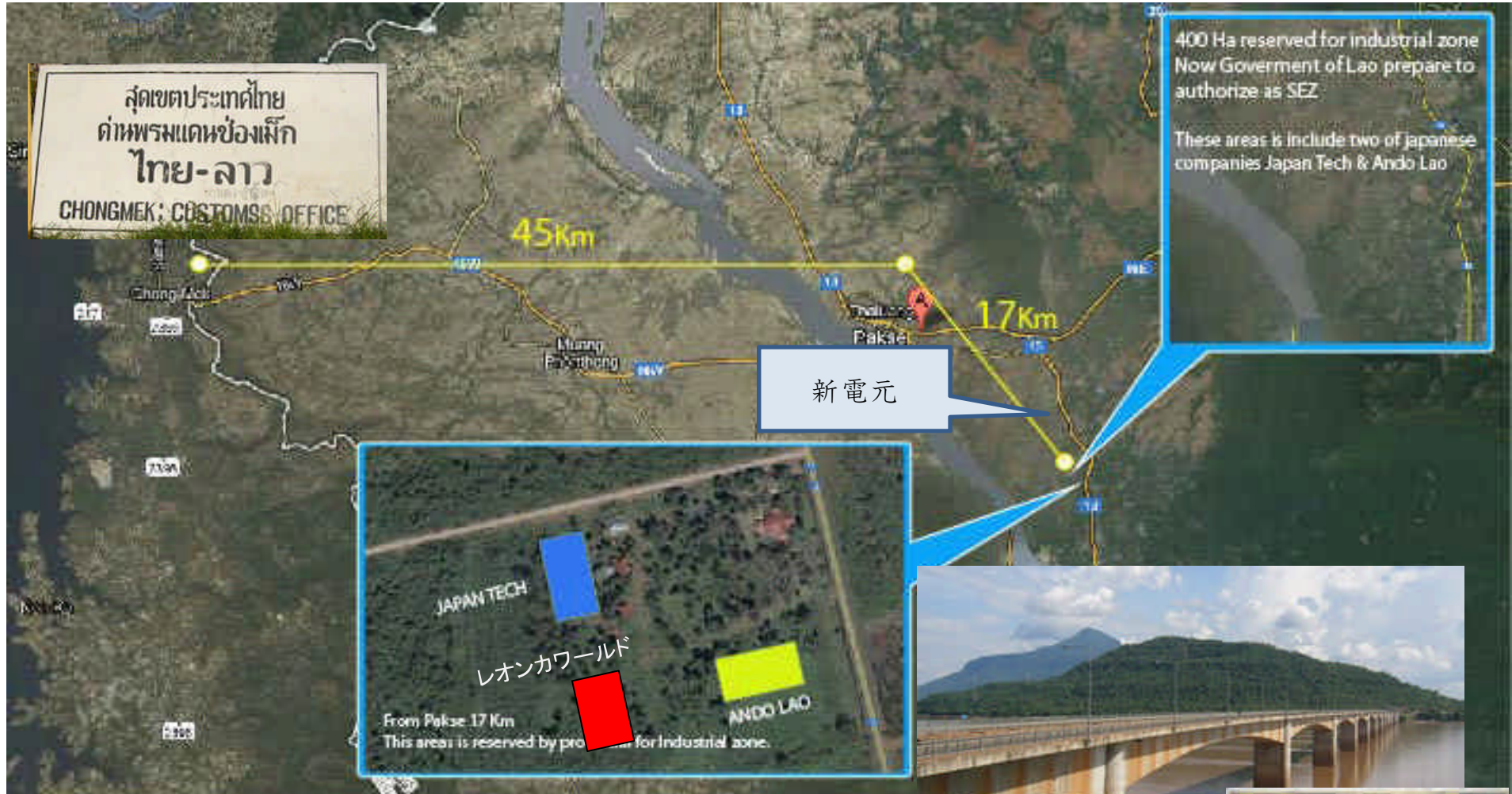
2014年8月14日 税関事務所完成



ラオス：税制上の恩典

	経済特区	特区外																											
法人税	利益計上の年から免税期間スタート	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">操業開始年から免税スタート</th> <th colspan="3">地域分類 低 ← インフラ整備 → 高</th> </tr> <tr> <th>ゾーン1</th> <th>ゾーン2</th> <th>ゾーン3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロジェクトの奨励度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Level 1 高 ↑</td> <td>10年</td> <td>6年</td> <td>4年</td> </tr> <tr> <td>Level 2 中 ↓</td> <td>6年</td> <td>4年</td> <td>2年</td> </tr> <tr> <td>Level 3 低 ↓</td> <td>4年</td> <td>2年</td> <td>1年</td> </tr> <tr> <td>利潤税免税期間後</td> <td>24%</td> <td>24%</td> <td>24%</td> </tr> </tbody> </table> <p>ゾーン1 投資に便利な経済インフラが未整備。 ゾーン2 投資に便利な経済インフラがある程度整備されている。 ゾーン3 投資に便利な経済インフラが十分に整備されている。 奨励度を示すレベル1~3は、政府によって決定される。</p>	操業開始年から免税スタート	地域分類 低 ← インフラ整備 → 高			ゾーン1	ゾーン2	ゾーン3	プロジェクトの奨励度				Level 1 高 ↑	10年	6年	4年	Level 2 中 ↓	6年	4年	2年	Level 3 低 ↓	4年	2年	1年	利潤税免税期間後	24%	24%	24%
	操業開始年から免税スタート			地域分類 低 ← インフラ整備 → 高																									
			ゾーン1	ゾーン2	ゾーン3																								
	プロジェクトの奨励度																												
Level 1 高 ↑	10年	6年	4年																										
Level 2 中 ↓	6年	4年	2年																										
Level 3 低 ↓	4年	2年	1年																										
利潤税免税期間後	24%	24%	24%																										
輸出比率	免税期間	免税期間終了後																											
70%以上	10年間	8%																											
30以上70%未満	7年間	8%																											
30%未満	5年間	8%																											
個人所得税	一律5%	累進課税0~25%																											
	輸入関税	建設資材・プラント：免税																											
	材料・部品：免税	材料・部品：免税																											
付加価値税	建設資材・プラント：免税	建設資材・プラント：納税																											
	材料・部品：免税	材料・部品：還付																											

Pakse=Japan SME専用 SEZ(計画) KM17



SME: Small & Midum Enterprises 中小企業
Ban Nongvong, Phathumphon District, Champasack Province

Welcome to Laos

- 空港出迎え(私が行けないときはホテルカーやレンタカーでお迎え)
Pick up at Wattai Airport
- ラオプラ等のホテル留保
Reserve your hotel room by special discount rate
- ラオスにおける日系企業視察アポ入れ
Make appointments for Japanese companies operating in Laos
- ラオス計画投資省における投資説明
Presentation of Lao investment environment and procedures at IPD, MPI.
- 関係省庁オフィス訪問
To visit the concerned government offices
- その他インフラ視察などの便宜をもちろん無料でさせていただいております。
All free of charge for the above service

Welcome to Laos

投資の意思決定が次の段階に向かいますと、ラオス要人アポをとります。

- Somdy ソムディー計画投資大臣閣下表敬
- Namナム商工大臣閣下表敬
- Soulivongスリヴォン鉱業エネルギー大臣閣下表敬
- Smardソマート運輸公共事業大臣閣下表敬等
- Dr. Bounthavyラオス計画投資副大臣
- Dr. Souphan サワンナケート知事
- Dr. Sonexsay チャンパーサック県知事
- Bouatha 首相府SEZ事務局長
- Hounphengラオス計画投資省投資促進局(IPD)局長
- Manothongラオス計画投資省投資促進局(IPD)副局長
- Bouakham Savan=SENO SEZ総裁
- Thongsay Savan=SENO SEZ総裁

ラオス計画投資省(MPI) 投資促進局(IPD) 鈴木執務室108号室

856-(0)20-5540-6357

suzukimo826@yahoo.co.jp

参考文献

1. 鈴木基義「ラオスー新経済体制下の模索」池端雪浦・末廣昭編『岩波講座東南アジア史第9巻』岩波書店。2002年3月。pp. 257-279。
2. 鈴木基義「移行経済国ラオスの現状と課題」石田暁恵編『アジア経済研究所。2001年党大会後のヴェトナム・ラオス——新たな課題への挑戦——』アジア経済研究所。pp. 153-177。2002年3月
3. 鈴木基義「経済」ラオス文化研究所編『ラオス概説』めこん。pp. 293-323。2003年7月(単著)
4. 鈴木基義「ラオス外国直接投資を評価するー優良・不良・未進出・撤退プロジェクトー」石田暁恵編『ラオス市場経済化:現状と課題』アジア経済研究所。2004年3月。pp. 159-209。
5. スックニラン ケオラ・鈴木基義「国有企業改革からみた市場経済化ー軍営企業山岳部開発会社(BPKP)の場合ー」天川直子・山田紀彦編『ラオスー一党支配体制下の市場経済化』アジア経済研究所。2005年9月。pp. 184-216
6. 鈴木基義・スックニラン ケオラ「進出と撤退からみるラオス外国直接投資」天川直子・山田紀彦『ラオスー一党支配体制下の市場経済化』アジア経済研究所。2005年9月。pp. 217-264。
7. 鈴木基義「ラオスの地域補完型工業化」天川直子編『後発ASEAN諸国の工業化 CLMV諸国の経験と展望』アジア経済研究所。2006年9月。pp. 63~99。
8. 鈴木基義『ラオス投資ガイド2007年版』国際機関日本アセアンセンター。2007年1月。
9. 鈴木基義「中国の対ラオス進出」木村福成・石川善一編『南進する中国とASEANへの影響』日本貿易振興機構(JETRO)。2007年4月。pp. 201~215。
10. 鈴木基義・山田紀彦編『内陸国ラオスの現状と課題』JICAラオス事務所・ラオス日本人材開発センター。2008年3月。
11. 鈴木基義「ラオスの経済」『新版 東南アジアを知る事典』平凡社。2008年5月。
12. 鈴木基義編著『ラオスの社会・経済基盤』JICAラオス事務所発行。2008年7月。
13. 鈴木基義編著『ラオスの産業基盤』JICAラオス事務所発行。2008年7月。
14. 鈴木基義『ラオス経済の基礎知識』日本貿易振興機構(JETRO)。2009年3月。

参考文献

15. Daisuke Hiratsuka, Keola Souknilanh & Motoyoshi Suzuki, "Chapter 7 Industrialization through vertical production networks: Can Laos Participate in Vertical Production Networks?," Daisuke Hiratsuka and Fukusei Kimura (Edited.), *East Asia's Economic Integration - Progress and Benefit -*, Macmillan, March 2008.
16. 鈴木基義「ラオス」朝日新聞社『アエラムック アジア学のみかた』1998年1月。(単著)
17. 鈴木基義「ラオスの政治経済」綾部恒雄・石井米雄編『もっと知りたいラオス』弘文堂。1998年。(単著)
18. 鈴木基義「ラオス—新経済体制下の模索」池端雪浦・末廣昭編『岩波講座東南アジア史第9巻』岩波書店2002年3月。pp. 257-279。(単著)
19. 鈴木基義「移行経済国ラオスの現状と課題」石田暁恵編『アジ研トピックリポートNo.46 2001年党大会後のヴェトナム・ラオス——新たな課題への挑戦——』アジア経済研究所。pp. 153-177。2002年3月(単著)
20. Motoyoshi Suzuki & Souknilan Keola, "Issues of State-owned Enterprises in the Lao People's Democratic Republic: Interview Survey," The National Economic Research Institute (NERI), Laos' State Planning Committee (SPC) and The Japan International Cooperation Agency (JICA), *Macroeconomic Support Policy for Socio-Economic Development in the Lao People's Democratic Republic Vol. 2*, July 2002. pp. 192-240. In English.(共著) 鈴木基義「経済」ラオス文化研究所編『ラオス概説』めこん。pp. 293-323。2003年7月
21. 鈴木基義「ラオス外国直接投資を評価する—優良・不良・未進出・撤退プロジェクト—」石田暁恵編『ラオス市場経済化:現状と課題』アジア経済研究所。2004年3月。pp. 159-209.
22. Motoyoshi Suzuki & Souknilhan Keola, "Subregionally Complementary Industrialization Strategy for Laos under Economic Unity," The National Economic Research Institute (NERI), Laos' Committee for Planning and Investment (CPI) and The Japan International Cooperation Agency (JICA), *Macroeconomic Support Policy for Socio-Economic Development in the Lao People's Democratic Republic*, March 2005.
23. スックニラン ケオラ・鈴木基義「国有企業改革からみた市場経済化—軍営企業山岳部開発会社(BPKP)の場合—」天川直子・山田紀彦編『ラオス—一党支配体制下の市場経済化』アジア経済研究所。2005年9月。pp. 184-216

参考文献

24. 鈴木基義・スックニラン ケオラ「進出と撤退からみるラオス外国直接投資」天川直子・山田紀彦『ラオス一党支配体制下の市場経済化』アジア経済研究所。2005年9月。pp. 217-264。
25. 鈴木基義「ラオスの地域補完型工業化」天川直子編『後発ASEAN諸国の工業化 CLMV諸国の経験と展望』アジア経済研究所。2006年9月。pp. 63~99。
26. 鈴木基義『ラオス投資ガイド2009年版』国際機関日本アセアンセンター。2009年。
27. 鈴木基義「中国の対ラオス進出」木村福成・石川善一編『南進する中国とASEANへの影響』日本貿易振興機構(JETRO)。2007年4月。pp. 201~215。
28. 鈴木基義「投資先としてのラオスの魅力」都市出版『外国フォーラム2007年8月号』2007年8月。pp. 60~63。
29. 鈴木基義「タイとベトナムのはざまでー内陸国ラオス発展のカギを握るタイとの効率的な分業」『週刊エコノミスト』2007年11月12日。p. 31。
30. スックニラン ケオラ・鈴木基義「国有企業改革からみた市場経済化ー軍営企業山岳部開発会社(BPKP)の場合ー」天川直子・山田紀彦編『ラオス一党支配体制下の市場経済化』アジア経済研究所。2005年9月。pp. 184-216
31. 鈴木基義・山田紀彦編『内陸国ラオスの現状と課題』JICAラオス事務所・ラオス日本人材開発センター。2008年3月。
32. 鈴木基義「地域補完型国際分業による四段階ラオス工業化の展望」鈴木基義・山田紀彦編『内陸国ラオスの現状と課題』JICAラオス事務所・ラオス日本人材開発センター。2008年3月。pp. 27~58。
33. Motoyoshi Suzuki (Ed.), *Perspective of Lao Economic Development -Impact of AFTA Scheme-*, Japan International Cooperation Agency Laos Office and National Economic Research Institute, Ministry of Planning and Investment, Laos. March 2008.
34. ラオス語著書 : ຂຽ ແລະ ດັດແກ້ໂຕ " ໂ ' ໂຕະໂປ ຮີ ຮ ÷ ຮ ÷ ຮ ຈີ, ກາພັດທະນາເສດ ຖະກິດ ຂອງ ສປປ ລາວ ພາ " ໃຕ້ກອບຂອງກາ ເຮື້ອ ' ໂ " ງ ເສດຖະກິດ ອາ ຮ ງ- ອັບຕ້າ, ອົງກອນ ' ືສາກີ " ປ ÷ ' ປະຈຳລາວ ແລະ ສະຖາບັນ ຄື້ຄວ້າເສດຖະກິດແຫ່ງ ຮ າດ ກະ ຮ ງງແ " ກາ ແລະ ກາລົງຫີ, ສປປ ລາວ.. 2008. (鈴木基義編著『ASEAN-AFTA経済統合の基でのラオスの経済発展』JICAラオス事務所・ラオス国立経済研究所[NERI]発行. March 2008)
35. 鈴木基義「ラオスの経済」『新版 東南アジアを知る事典』平凡社。2008年5月。
36. 鈴木基義編著『ラオスの社会・経済基盤』JICAラオス事務所発行。2008年7月。
37. 鈴木基義編著『ラオスの産業基盤』JICAラオス事務所発行。2008年7月。
38. Daisuke Hiratsuka, Keola Souknilanh & Motoyoshi Suzuki, "Chapter 7 Industrialization through vertical production networks: Can Laos Participate in Vertical Production Networks?" Daisuke Hiratsuka and Fukunari Kimura (Edited.), *East Asia's Economic Integration - Progress and Benefit -*, Macmillan. September 2008.

参考文献

39. 鈴木基義『ラオス経済の基礎知識』日本貿易振興機構(JETRO)。2009年3月。
40. Motoyoshi Suzuki, "Sub-regionally Complementary Industrialization Policy for the Lao P.D.R.," Naoko Amakawa (Edited), *The Experience and Prospects of Late-Comer ASEAN Countries*, National University of Singapore. 2011.
41. Motoyoshi Suzuki, "Industrialization Strategy of Laos -Agglomeration and Fragmentation-," Ikuo Kuroiwa (Edited), *Expansion of the Production Networks into the Less Developed ASEAN Region: Implications for Development Strategy*, National University of Singapore. 2011.
42. Motoyoshi Suzuki, "Export Processing Zones and WTO SCM Agreement," Akifumi Kuchiki and Masatsugu Tsuji (Ed.), *Formation of Industrial Clusters in Asia and Regional Integration*. Edward-Elger Publishing Ltd. 2011, Forthcoming.
43. Motoyoshi Suzuki, "Case Study of Industrial Zones in Laos: Prospect of Vientiane Special Economic Zone," Akifumi Kuchiki and Masatsugu Tsuji (Ed.), *Formation of Industrial Clusters in Asia and Regional Integration*. Edward-Elger Publishing Ltd. 2011, Forthcoming.
44. 鈴木基義「対外債務と債務持続可能性」山田紀彦編著『ラオスにおける国民国家建設：理想と現実』アジア経済研究所。2011年10月。(単著) pp. 229-275.
45. 植松 賢二「ラオス投資セミナー in BKK」ラオス投資セミナー in BKK資料。2008年
46. 橋本信雄[2013]「エネルギー・電力セクターの現状と課題」鈴木基義編著『変貌するラオスの社会と経済』JICAラオス事務所。
47. 藤田昭雄「ラオス観光産業の現状と展望」第1回ラオス開発援助研究会。2012年7月
48. Whilley Lelis, *LAO WOOD PROCESSING INDUSTRY FACTORIES*, September 2012
49. 今村裕二『カンボジア投資における三つの留意点(立地、物流、人材)』2012年7月
50. Kyaw Zaw Maung, *Investment Climate in Myanmar*, 2013
51. 上松裕士[『ようこそ、プノンペン経済特区へ』2012年
52. 鈴木基義編著『変貌するラオスの社会と経済』JICAラオス事務所。2013年
53. 鈴木基義編著『ラオスの開発課題会経』JICAラオス事務所。2014年
54. 鈴木基義「ラオスの投資環境と地域補完型工業化」海外投融資情報財団『海外投融資JOI』2014年5月号。pp. 38~41.
55. 鈴木基義「ラオスの経済特区と投資環境-本格化するタイプラスワン-」バンコク日本人会『所報』。2014年10月。
56. 鈴木基義「ポストタイの有棘候補 ラオス直接投資の勘所」ダイヤモンド社『週刊ダイヤモンド』2014年12月13日号。pp. 98-99.

ຂໍຂອບໃຈ ທຸກທ່ານ

Thank you for your attention
Contact to

ラオス : 856-(0)20-5540-6357

日本携帯 : 090-6647-2655

suzukimo826@yahoo.co.jp

ラオス計画投資省(MPI)

投資促進局(IPD)鈴木執務室108号室